

MINSHIN Press

号外



国民とともに進む。

民進党栃木県総支部連合会(広報委員会)
〒320-0043
栃木県宇都宮市桜 2-1-30
電話 028-627-1700 FAX 028-627-1710
ホームページ <http://dp-tochigi.jp/>

2017年9月25日
通常号 定価1部200円(税込み)
民進党 民進プレス編集部
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1 電話:03-3595-9988(代表) メール: press@minshin.or.jp URL: <https://www.minshin.or.jp>

All for All ~みんながみんなのために~

民進党代表に前原誠司氏が決定!



初の執行役員会後に記者会見を開いた前原執行部の執行役員会メンバー(左から、小川敏夫参院議員会長、松野頼久国対委員長、枝野幸男代表代行、前原誠司代表、大島敦幹事長、階猛政調会長、長妻昭選対委員長)

9月1日、東京都内にて『民進党臨時大会』が開催され、投開票の結果、前原誠司衆院議員が新代表に選出されました。前原新代表は就任あいさつで「自己責任型の冷たい社会ではなく、全ての人に不安から安心、希望をつないでいき、それが新たな社会の好循環を生んでいく」と目指す社会を語り、「皆さんのために、国民のために全てを捧げて働く覚悟である」と表明しました。

また、9月5日に開いた両院議員総会で新役員人事が決定され、前原代表は「われわれが選択肢を示すことは、民進党のためではなく、歴史的使命、国民に対する責務。しっかり次の選挙で政権交代を果たす」と決意を示しました。

民進党のあるべき姿



民進党栃木県連 代表 福田昭夫

アベノミクスは失敗に終わりました。そればかりか、経済最優先を隠れ蓑にして、国民に分らないように『いつでも戦争できる国』をつくってしまいました。異次元の金融緩和を止めなければ、わが国の財政も経済も生活もすべて破壊します。

民進党は、安倍独裁政権の暴走を止め、現政権に変わる選択肢を示さなければなりません。

私は代表選前から、党の内外に「二人とも日本にとって必要な政治家。どちらが代表になっても良い。問題は、代表選後二人がガッチリ手を組んで、一致団結して政権交代へ向けて頑張ることが大事だ」と述べてきました。

前原代表の言う『オールフォーオール』の精神で、人口減少時代に対応した『中福祉中負担の国づくり』の旗を高く掲げましょう。民進党栃木県連もその為に一致団結して頑張ります。

地方組織強化のために強いリーダーシップを



民進党栃木県連 幹事長 松井正一

前原誠司新代表が就任されました。私は、2年後の統一地方選挙にむけて「地方組織の強化」が民進党の党勢拡大のカギであると思っています。

2015年の統一地方選挙において、当時の民主党栃木県連は「反省・結束・改革」をスローガンに掲げ、自民党に対峙する独自マニフェストを作成して戦いました。その結果、県議会議席の倍増等、一定の成果を上げることが出来ました。しかしながら、地方は相変わらず自民党議員が多数を占めており、自分たちの求める政策がなかなか実現出来ない状況です。

民進党の党勢回復のためには、地方組織の強化は不可欠です。そのためには、民進党綱領に沿った明確な将来ビジョンを示し、そのうえで、地方組織をどのように立て直すのか、前原新代表の力強いリーダーシップを発揮していただきたいと思っています。

自治体議員・議会および地域活動報告

民進党栃木県連には、15議会27名の

栃木県議会

“ひと”にこだわり政策要望



佐藤 栄(5期)



松井正一(3期)



斉藤孝明(3期)



加藤正一(2期)



平木ちさこ(1期)



船山幸雄(1期)



中屋 大(1期)

県議会民進党・無所属クラブは8月29日、「9月補正予算及び中間期政策推進要望書」を知事へ提出しました。私立高入学金助成の創設や県内就職を条件に奨学金返済を補助する「未来人材応援事業」の対象業種拡大、インターンシップ参加学生及び受入企業への支援を提言する一方、那須雪崩事故における事故原因の究明並びに登山訓練時に必要な資器材整備を含む再発防止策等講じるよう求めました。また、県内160カ所の指定廃棄物一時保管場所の強化と農業系副産物の減容・安定化の国への働きかけなど20項目に亘り要望しました。



鹿沼市議会

「タウンミーティング」開催



大貫 毅(2期)



島田一衛(1期)

8月20日、鹿沼市内の北押原コミセンにおきまして、『第3回民進党鹿沼市支部タウンミーティング』を開催しました。

『タウンミーティング』は、民進党鹿沼市支部の取り組みとして松井正一支部長(県議)を中心に、大貫毅幹事長、島田一衛幹事長代理をはじめとする鹿沼市議団が地域の活性化及び地域の声を県政、市政に反映する為に県議会と市議会の閉会后、鹿沼市各地区に於いて実施しています。

当日は、多くの皆様にご参加頂き、国政報告を始め県議会、鹿沼市議会報告を各議員から行い、質疑応答や意見交換を行いました。参加者からは「民進党が目指す社会像を明確に打ち出してほしい」など、建設的な要望を頂きました。

タウンミーティングは、年内にあと1回開催し、いただいた要望事項を整理したうえで鹿沼市長に提言していく計画です。引き続き多くの市民・党員・サポーターの皆様にご協力をいただきながら取り組んでいきます。



宇都宮市議会

LRT導入は「市民合意」を第一に!



今井恭男(8期)



中塚英範(1期)



駒場昭夫(3期)

宇都宮市と芳賀町が導入を進めているLRT(次世代型路面電車)は、昨年行われた宇都宮市長選挙の出口調査で62%が「LRTに反対」という調査結果が公表され、現在も賛成派・反対派に二分される最大の課題です。

私たちは、LRT導入は「市民合意」を第一に掲げ、採算性の不安や将来負担に対する市民の疑問を代弁してきました。

小学校の敷地が削られ、児童の通学が危険にさらされたり、地域が軌道で分断されコミュニティの崩壊等が危惧されている平石地区の現地調査や意見交換、全国で初めての全線新設のLRT導入に対する様々な問題点を数度にわたり国土交通省及び総務省に陳情活動を展開してきました。

特にLRT事業に対する費用は市民に分かりやすく、且つ、透明性確保のため、企業法に基づく特別



日光市議会

初の「議会報告会」を開催



加藤 優(3期、通算5期)



青田兆史(2期)



阿部和子(1期)

県教委は平成29年3月16日、1学年4学級以上の適正規模の確保が難しい小規模高校を「特例校」として維持する『第2期県立高校再編計画案』を発表。その対象に日光光明峰高校が、2学級の特例校に選ばれ、平成30年度から適用されます(現在定員160名4クラスから定員80名2クラスになる)。今後は、2学級特例校として生徒を募集し、3年目以降、入学者が2年連続で募集定員の3分の2未満となった場合は原則として統合が検討される事となりました。市外から登校する生徒は、電車、バスに乗り継ぐ通学費の負担も大きく、募集定員を割る原因の一つになっております。その通学費を軽減させるためにも市に働きかけを行っていきます。



自治体議員が所属しています。今号は、一部議員の議会での取り組みや地域活動などをご紹介します。

佐野市議会

「クリケットタウン佐野」 創造プロジェクト



早川貴光 (1期)

佐野市では、『クリケットの佐野』を日本ならびに世界へPRし、日本における『クリケットの聖地』を目指しています。市の地方創生基幹プロジェクトと言える、クリケット関連事業（一般会計補正予算《第2号》の部分）が6月議会において全会一致で採択されました。今回の補正予算総額7億4,935万円の67%を占めます。

日本での知名度は低いクリケットですが、競技人口を世界規模で見ると、バスケットやサッカーについてTOP3に入ると言われています。現在、市も児童にクリケットを体験してもらう取り組みを行うなど、長期的視点も考慮しながらクリケットの振興を推進しています。

日本唯一の国際規格を満たす天然芝のグラウンド（男子用1面、女子用1面）、観戦スタンド（500席）の整備に4億2,708万円、地域の発展を目的とした『クリケットタウン佐野』創造プロジェクト事業費に7,548万2千円などを計上しました。グラウンド整備事業はすでに整備に向けて着手しており、創造プロジェクトについては、2018年から本格的に始動するようです。

今後、クリケットを通じて様々な分野で投資活動を誘発させながら産業を活性化させます。また、この事業を発展させる為にも、インバウンド事業を強化し、相乗効果を狙いながら、誘客、集客をして地域の発展に繋げなければなりません。これらの事業について注視しながら、事業成功に向けて具体的な施策の提案などを行っていきます。

足利市議会

花火大会翌日は 恒例の清掃作業



吉田晴信 (2期)

8月5日、渡良瀬川河川敷にて『第103回足利花火大会』が開催されました。足利花火大会は、1903年（明治36年）に創始された歴史ある大会で、尺玉、スターマイン、仕掛け花火が大輪を咲かせました。

また、人気オンラインゲーム『刀剣乱舞』をイメージした花火も披露されるなど、訪れた刀剣女子たちを含め多くの人を魅了し、足利市内はもとより県内外から、約52万人が花火を楽しみました。

花火大会翌日には、例年恒例となっている会場内外の清掃が一般参加者を含め約40団体、約1,500人で実施され、連合わたらせ地域協議会の仲間たちとともに清掃作業に参加しました。歴史ある花火大会を継続して開催するためにも、環境美化への意識が高まる活動を今後も積極的に行っていきます。



栃木市議会

『被爆72周年原水禁世界 大会 長崎大会』に参加



大武真一
(2期、通算4期)

8月7日から8月9日までの3日間、『被爆72周年原水禁世界大会 長崎大会』に民進党栃木県連を代表して島田一衛鹿沼市議と共に参加しました。

72年前の8月9日、長崎市に原爆が落とされました。原爆は一瞬にして死者73,884人、負傷者74,909人という想像を絶する焦熱地獄を長崎の地に起こした

のです。

この大会には全国から、そして世界各地の代表、総勢1,600人が集まりました。また、日本各地から高校生40人が戦争反対の1万人署名活動を行って参加しました。

鎮魂の式典後、原爆資料館を見学しましたが、改めて原爆の非人間性、悲惨さ、地獄を痛感し、今を生きる私達が二度と同じ過ちを犯さないよう、平和への責任を果たさなければならぬと感じました。



壬生町議会

行事への積極的参加



落合誠記 (4期)

壬生町議会の定数は、平成18年の改選時に22から16へと変更となり、現在、清友会（10名）、新風会（3名）、会派に所属さない議員（3名）で構成されています。

また、予算・決算委員会は設置されておらず、落合誠記（4期）総務、教育民生、建設経済の各常任委員会にて予算・決算ほか条例の制定・改正が審議され、所管委員会に属さない議員は傍聴することになっています。

議会の喫緊の課題として、「子育て環境日本一」を標榜する本町の育児教育の推進、50ヘクタールの市街化計画の推進、平成33年着工予定の役場新庁舎建設計画の推進などが挙げられます。

町の活性化に努めるとともに行事には積極的に参加し、最近では「壬生町ふるさとまつり」や「ゆうがおマラソンソフト」に揃いのユニフォームにて彩りを添えました。



塩谷町議会

「再要望書」を環境大臣へ



篠原 操 (1期)

塩谷町議会には、「指定廃棄物最終処分場建設候補地対策特別委員会」があります。町にとって最重要視される問題で、町議会12名全員が所属する委員会です。

6月の定例会では、一般質問で最終処分場問題を取り上げ、町の姿勢を確認しました。7月には、町議全員で候補地に選定された塩谷町寺島入と一時保管場所を視察し、また、その4日後には、町長と9名の町議が環境省を訪れ「指定廃棄物一時保管状態の強化における支援措置の再要望書」を環境大臣に提出しました。塩谷町で保管されている指定廃棄物について、現在の一時的保管場所を強化し、周辺町民や下流域住民の不安を解消するよう要望しました。



前原新体制スタート! 国民に対する責務を果たす



《党公認キャラクター「ミンシン」》
誕生：2017年3月9日
出身：地球
チャームポイント：目(星に願いを託し、星が目反射しているから)

9月5日に行われた両院議員総会にて新役員が選任されました。
前原新代表のもと、党が一体となって政策実現を進めていきます。



■代表
前原 誠司 (まえはら・せいじ)
衆議院議員〔8期〕
京都2区〔京都市(左京区、東山区、山科区)〕
生年月日：1962年4月30日(55歳)
出身：京都府京都市
学歴：京都大学法学部卒業



■代表代行
枝野 幸男 (えだの・ゆきお)
衆議院議員〔8期〕
埼玉5区〔さいたま市(西区、北区、大宮区、中央区)〕
生年月日：1964年5月31日(53歳)
出身：栃木県宇都宮市
学歴：東北大学法学部卒業



■幹事長
大島 敦 (おおしま・あつし)
衆議院議員〔6期〕
埼玉6区〔鴻巣市の一部、上尾市、桶川市、北本市、北足立郡〕
生年月日：1956年12月21日(60歳)
出身：埼玉県北本市
学歴：早稲田大学法学部卒業



■政務調査会長
階 猛 (しな・たけし)
衆議院議員〔4期〕
岩手1区〔盛岡市の一部、紫波郡〕
生年月日：1966年10月7日(50歳)
出身：岩手県盛岡市
学歴：東京大学法学部卒業



■選挙対策委員長
長妻 昭 (ながつま・あきら)
衆議院議員〔6期〕
東京7区〔渋谷区、中野区〕
生年月日：1960年6月14日(57歳)
出身：東京都練馬区
学歴：慶應義塾大学法学部法律学科卒業



■国会対策委員長
松野 頼久 (まつの・よりひさ)
衆議院議員〔6期〕
熊本1区〔熊本市中央区の一部、東区、北区の一部〕
生年月日：1960年9月19日(57歳)
出身：熊本県鹿本郡菊鹿村(現・山鹿市)
学歴：慶應義塾大学法学部政治学科卒業

栃木県内有権者意識調査結果

民進党栃木県連は、9月17日、18日の2日間、栃木県内有権者を対象に電話による意識調査を実施しました。下記結果をもとに、政策立案や地域の課題に取り組んでいきます。

【問1】性別

～あなたの性別を教えてください?～
・男性(%) ・女性(%)

【問2】年齢

～あなたの年齢を教えてください?～
・18～29歳(%) ・60代(%)
・30代(%) ・70代(%)
・40代(%) ・80代以上(%)
・50代(%)

【問3】社会像

～あなたが、共感を覚える社会像はどれですか?～
・自分の事は自分でやる、自己責任の社会(%)
・社会全体で助け合う共生の社会(%)
・政府や自治体が全面的に面倒を見る、公助の社会(%)

【問4】税金の用途について

～人口減少、少子高齢化が加速するなか、税金をどの分野に一番使ってほしいですか?～
・年金(%)
・医療・福祉(%)
・景気・雇用対策(%)
・子育て(%)
・教育(%)
・環境(%)

【問5】LRT整備事業の是非について

～宇都宮市・芳賀町が、路面電車・LRTを導入することについてどう思いますか?～
・導入すべき(%)
・導入すべきでない(%)
・わからない(%)

【問6】放射性指定廃棄物最終処分場について

～塩谷町が指定廃棄物最終処分場候補予定地に指定されていることについてあなたはどのように思いますか?～
・処分場は福島第一原発内に作るべき(%)
・塩谷町に早く作るべき(%)
・再選定すべき(%)
・わからない(%)

【問7】南摩ダムについて

～南摩ダムの開発事業によって栃木市、下野市、壬生町の水道料金が上がることが見込まれていますが、あなたはどのように思いますか?～
・開発を進めるべき(%)
・開発を中止すべき(%)
・わからない(%)

中間自治体議員選挙に向けて

来年、2018年は『中間自治体議員選挙』が栃木県内各地で実施されます。
現在、民進党栃木県連は候補者の擁立および党公認・推薦候補の申請準備を進めています。
候補予定者が決定次第、党员・サポーターの皆さまにはあらためてご案内をさせていただきますので、候補者当選に向け、ご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

《2018年に中間自治体選挙が実施される議会》

議会名	定数	任期満了日(告示、投票日)
栃木市	30	4月24日任期満了
日光市	24	4月22日任期満了
さくら市	18	11月30日任期満了
那須烏山市	17	4月30日任期満了
下野市	18	4月15日告示、4月22日投票
壬生町	16	4月15日任期満了
高根沢町	16	4月29日任期満了
那珂川町	13	4月30日任期満了



「民進党栃木県総支部連合会」にいいねをお願いします



@minshin_tochigi 「フォローをお願いします」

http://www.dp-tochigi.jp

民進党栃木 検索

